



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

“世界へのプレゼントになろう”

RI会長 K.R.ラビンドラン

2570地区ガバナー 高柳 育行

第3グループ
ガバナー補佐 吉田 譲二

「ロータリーの心を実践しよう」

第2671例会 2015. 10. 28

—— 経済と地域社会の発展月間 ——

天候 晴 (NO. 52-18)

会長 間邊元幸 幹事 土屋 崇

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 大野(康)君、大崎君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 間邊会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・米山記念奨学生 ホアン・フォン・チーさん
- ・卓話 澤田清志様

【会長報告】

紅葉も山から裾野に下りて来て、美杉台の街路樹も一段と鮮やかになって参りました。ウォーキングには最高の季節だと思います。休会中の大野(泰)会員は松葉杖を使ってリハビリ中。遅くとも12月には例会に出席との事です。朝晩は冷えてきました。風邪などひかないよう気を付けてください。

チーさんに奨学金をお渡しします(拍手)。

◎チーさん: 最近ほとんどの時間を卒論に使っています。締切りまで2か月。テーマは「アジア系留学生の就職への動機づけ～日本での就職を決定づけるまでのプロセス」。外国人留学生在籍状況、留学生の日本企業等への就職状況を調べました。研究の目的は日本で就職もしくは今後就職する留学生にとって日本への留学はどのような意義があり就職をどのように決定したのかを明らかにする事です。日本で就職活動中もしくは就職した留學生に今インタビューをしています。来月、結果を詳しくまた発表したいと思います。

【幹事報告】

◎例会変更のお知らせ

◇新所沢RC

- ・12/22(火) 家族共に忘年会&クリスマス会 サイボクハム
- ・12/29(火) 例会取消(定款6-1-C)
- ・1/5(火) 例会取消(定款6-1-C)
- ・1/12(火) 所沢中央RCと合同例会

- ・1/26(火) 通常例会
- ・2/23(火) 例会休会 27(土) I M

◇所沢RC

- ・11/24(火) 移動夜間例会
- ・12/22(火) 例会振替 18(金) クリスマス会
- ・12/29(火) 例会取止(定款6)
- ・1/5(火) 例会取止(定款6)

◇所沢西RC

- ・12/8(火) 例会取止 吉安扶輪社訪問
- ・12/22(火) 例会振替 18(金) クリスマスパティー
- ・12/29(火) 例会取止(定款6-1-C)
- ・1/5(火) 例会取止(定款6-1-C)
- ・1/12(火) 新年会

【委員会報告】

◎高麗郡建郡1300年記念事業 矢島(巖)君
高麗郡が置かれた8市3町で進めており、私も中里(昌)会員から引き継いで、(一社)高麗1300副理事長、吉田SAAは理事として関わっています。その一環としてミュージカル『ジュリアおたあ』を上演します。

◎翠川様(劇団わらび座 関東事務所)

飯能での公演は10年ぶり。飯能は大陸とご縁が深く、国際交流の時代に皆さんで盛り上げて頂ければと思っております。

【出席報告】MUなし

伊澤出席委員

会員数	当日	前々回修正
全数	対象	出席率
57名	6名	49名
		85.96%
		78.95%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・結婚記念祝い有難うございました。

平沼君、山岸君

・中3砲丸娘、ジュニアオリンピック金メダルとりました。今年度の全国大会3冠王です。大野(康)君
 ・高麗郡建郡1300、PRさせて頂きます。矢島(巖)君
 ・澤田先生、クラブ50周年ではいろいろお世話になり有難うございました。中里(昌)君
 ・澤田教育長ようこそ!! 本日はよろしくお願ひ致します。中里(昌)君、神田(康)君、吉島君、福島君
 間邊君、土屋(崇)君、和泉君、小川君、吉田(行)君
 ・早退 半田君、安藤君、大野(康)君
 本日計 24,000 円、累計額 316,022 円。
 ◎4日例会当番は大野(泰)、齋藤会員です。

【卓 話】

講師紹介 吉田 SAA(森青少年奉仕委員長代行)
 教育関係者の中で過ごされ、ご尊父の克郎先生は私の恩師、上司でした。清志先生は國學院大学を卒業後、教職に就かれ県西部地区を中心に活躍。H25年4月(当時)沢辺市長にも見込まれ一小校長から教育長に抜擢。誠実なお人柄で、子ども達、保護者、教師仲間からも信望を集める素晴らしい教育長です。

飯能の子どもたちの今

飯能市教育委員会教育長 澤田清志様

まず御礼を申し上げます。50周年に加治中吹奏楽部を呼んで頂き、お祝金で立派なティンパニを2つ買い、東日本大会では金賞ゴールド(去年は銀賞)No.1を取る事が出来ました。子ども達はまだまだ伸びる力を持っておりますので、いろんな形で支援を頂けたら有難いと思っております。

〔映像併用〕市の大きな教育理念は「共育」。「共に学んでいこう」「共に育っていこう」「共に育てよう」という思いで仕事をさせて頂いています。

飯能市教育委員会の3分野は「学校教育」「社会教育」「社会体育」。ツーデーマーチはお蔭様で参加2万人超。もっと良いコースを開拓して「飯能はいい所なんだよ」というのを伝えていきたい。第九には私も3年程出て、一小の教員も10名程参加していました。一小では独語で歌詞を覚えさせています。名栗幼稚園(昨年より9名増)では英語教育に力を入れている。小学校14校3600名弱(80名減)。中学校8校1450名(55名減)。「教育長」3年目。最初の年から気持ちは変わっていない。校長、課長に「やってる事を見える化して欲しい」と言ってきた。発信すれば返ってくる。返ってくればまた何かが出来ると。「家庭が悪い」「地域が悪い」と責任転嫁、悪口を言っても良くならない。全部自分の事としてとらえ、仕事をやっていきなさいと伝えている。「釈迦に説法を」とは、知ってるような顔をしていてもわかっていない人が居るから丁寧に説明しなさいという事。全く失礼な言い方だが、それが必要だと思う。私の師が言っていたのは「わからないやつとわからないやつが話をすると悲劇が生まれる」「わからないやつはわかるやつに話を聴け。そうすると希望が生まれる」。私はわからない事については何でもわかる人に聞こうと思っています。「形骸化への挑戦」行政の「去年やってる事をやっていければいい」を変える。まだ不十分。そして「立志」。

「体験を通して教育を進める」ことが中心。大野史佳さんは全日本チャンピオン。今までは2.8kg砲丸で15.45m。ジュニアオリンピックは4kgで12.46m。期待して応援を頂けたらと思います。父親に代わり、よろしくお願ひ致します。吾野中の生徒が吾野保育



所の子を連れて避難訓練。中学生はもう大人として扱う。大雪が降った時に学校を休みにするなら子ども達は地域へ出ていって雪掻きをする。そういう宿題を出しなさいと指示しました。中学生の力を大いに使う。中学生には、役をもらっているんだという思いをさせて育てていきたい。

図書館の大橋副館長はフィンランド好き。10回程も行っただけのようにムーミンの事を勉強している。前回の議会でも「ムーミンを教育にどういうふうにするのか」と質問を受けました。スナフキンやリトル・ミイの名言は自分に言われているような気がしてなりません。ムーミンの世界は戦争が無く、平和な世界。こういう世界に子ども達を浸らせたいという思いは持っています。もう1つ、寝屋川で中学生が亡くなった事件。夜、商店街をふらふらしている画面が出ました。「夜はこわいんだ」という事を本当は教育の場で教えていかなければいけない。ムーミンの初期の絵にはこわい世界がいっぱい出ている。幼稚園や小学校1、2年生にはこれを利用して学習させたい。

「学校へ行くのは楽しい」85%、「楽しくない」15%。原因はさまざま。いろんな所に視点をあてながら様子を見ていかなければならない。大きな課題は「不登校の解消」。県の在籍率を比べると、小学校では倍の数の子どもが不登校になっている。いじめの発生率(埼玉は下から2番目)が少なければいいという事ではない。大津で自殺した子どもに対する教育委員会の動きが悪く、60年ぶりに教育委員会制度が改正され教育長に責任を持たせなさいとなった。あまりにも無関心みたいな顔をしている教育長が多い。私はそういう教育長にはならないようにしたい。「親を大事に」「弱い者いじめをしない」「嘘をつかない」「卑怯なまねをしない」という言葉を伝えていきなさいと校長、教員に指示。昔から言われてきた教育の根本です。それをもう一度丁寧に子ども達に伝える。PTA会長、保護者、地域の皆さんにもお願いしました。皆が同じ事を言っているから「正しいんだ」と子どもは思ってくれます。飯能の子ども達はそんなふうにして育てていけたらと思います。大人の世界でも職場でもいじめがある。それを無くすためにも子どもを利用して大人に伝えていく。そういう事が今、必要なのだらうと思っています。

本市が取り組みたい事一番は「体験学習」。下草刈りや枝打ちだけでは学習ではない。もっと、山へ入ったら「楽しい」という遊びをさせなさいと言っています。落葉の中に体を埋めたっていい、つるでターザンごっこをしてもいい。山へ入って行った時の楽しさを昔は地域の人や仲間が教えてくれたが、今は学校がやる時代です。若い先生方の研修では山で遊ぶ事を経験させたい。「恵まれた自然環境を生かした教育」先日の名栗の「ピストン釣り体験」は、豊島区の全学校に案内を送ったところ、定員オーバーしてしまいました。飯能の子が知らないのに何故豊島区なのか、と、私は強く思いました。

子どもの数によってクラス数、教員数も決まります。子どもが減る事で学校がアウトになる可能性もある。東吾野小は全校で29名、複式学級です。ムーミンがやって来る事で、希望をもった施策が出来そうなのですが、もっと真剣に現場の人間が考えていかなければ飯能から子どもが出て行ってしまおうと思います。